

都道府県名:宮崎県 氏名:樋口 信義

地域

宮崎県の南部に位置する都城市は、地下水が豊富で自然豊かな農畜産業が盛んな地域である。平成7、8年当時、「ウェルネス都市宣言」をしており、市民活動が活発で、市民もまちも自然も元気な市であった。

経緯

その頃、宮崎県を流れる一級河川大淀川の水質が九州ワースト1になったと聞き、「自分たちに何ができるだろう」と考え、どんぐりを拾い、それを育てて、広葉樹の森をつくろうと立ち上がったのが「どんぐり1000年の森をつくる会」である。

功績内容

樋口信義氏は、当時中学校の校長を務めていたが、独自で野生のシカの研究や絶滅危惧の恐れのある植物の保護活動にも取り組んでおり、「どんぐり1000年の森をつくる会」の理念に賛同し、発足当初より、数十名の仲間とともに活動を始めた。

平成14年に初代会長の鳥集忠男氏が逝去された後、二代目会長として、平成25年まで会長を務め、会の代表として様々な対外的活動を行う。また、みやざき森づくりボランティア協議会の会長も長年務め、宮崎県の環境団体の親睦や情報交換、技術講習、普及啓発活動を行うなど、森林づくりの大切さの意識醸成に取り組んでいる。



どんぐりの森植樹会第17号地にて



参加者と一緒に植樹会



水辺環境教育の模様

どんぐり1000年の森を作る会
総会での挨拶

自然観察会